

1月29日：前日は過去最大の下落率となったが、ベトナム株は反発

新型コロナの新たな市中感染への懸念から前日に過去最大の下落となったが、金曜日のベトナム株式市場は反発した。

ホーチミン市場（HoSE）では、VN指数が3.19%高の1056.61ポイントとなった。木曜日の同指数は6.67%（73.23ポイント）安の1023.94ポイントで引けた。

利益確定売りと、ハイズオン省とクアンニン省で報告された新型コロナの新たな市中感染は木曜日に株価の急落を招き、ベトナム株は4日続落となっていた。

しかし、金曜日は投資家たちが底値を拾おうと買いに転じ、急反発した。

全体として、値上がり銘柄数が値下がり銘柄数を上回り、上昇が375、そのうち29銘柄が7%上昇しストップ高、その一方で90銘柄が下落した。35銘柄が変わらずだった。

出来高は7億9,740万株、売買代金は17兆8,300億ドンだった。

VN30指数も反発し、終値は3.72%高の1,048.31ポイントだった。組み入れ銘柄のうち、23銘柄が上昇、下落は5銘柄のみだった。

下落銘柄のうち3銘柄が7%近く値下がりし、ストップ安を付けた。

具体的には、エクシムバンク（EIB）-6.91%、FLCファロス建設(ROS)-6.86%、サイゴンビール・アルコール総公社(SAB)-6.96%と売られた。エクシムバンクは木曜日に唯一上昇した銘柄であった。

多くの大型株が買われ、銀行、証券、不動産、建設、公益、小売、製造業を含む全てのセクターが反発した。

マーケットを押し上げた上昇率トップ5銘柄には、ビンググループ(VIC)+6.88%、ビンホームズ(VHM)+6.98%、ビナミルク(VNM)+6.97%、ベトコムバンク(VCB)+2.65%、ベトナム投資開発銀行(BID)+3.77%などが含まれた。

ハノイ市場でも、主要指数である HNX 指数が反発した。同指数は 5.5% (214.21 ポイント) 上昇した。HNX30 指数は 4.2% 高の 316.35 ポイントとなった。

国内投資家の買付額は約 2 兆 7,000 億ドンに達し、出来高で 2 億 340 万株を超えた。

海外投資家はホーチミン市場で 1 兆 1,000 億ドン、ハノイ市場には 66 億 2,000 万ドンを買付けた。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。